

「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.2 令和2年8月6日

医療業務に携わる人材（看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等）育成のための進学指導を行います。

→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、長岡崇徳大学等の進学を目指します。

○7月10日(金) 16:00～ 医療講演会とディスカッション

対象：2年生医療専攻生と聴講生

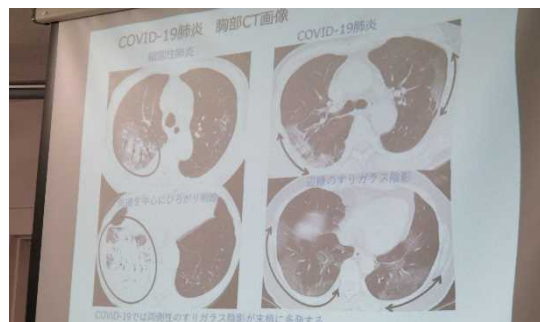
講師：橋本 薫先生

（新潟医療福祉大学 医療技術学部
診療放射線学科 講師）

医療放射線科の放射線技術者

演題：「ラジエーションハウスのRT」

会場：新潟西高等学校 社会科教室



第1部講演会では、新潟医療福祉大学より診療放射線学科講師の橋本薫先生をお招きしました。

診療放射線技師は、放射線を使ったCTやMRCなどで病気の原因を特定できるような画像を作り、医師の指示のもとガンなどの病気そのものを治療することもあります。先生は、病気の画像だけでなく食べ物の画像などを使ったクイズで楽しく分かりやすく教えて下さいました。一般的な肺炎と新型コロナウイルスの肺炎との違いや、特定の部位を分かりやすく

映像化する技術など、初めて知ることが多く、医療専攻生はもちろん、参加した聴講生も真剣な眼差しで聴いていました。



生徒の感想

…私はこの講演会を聞いて、放射線技師がどういう職業なのか、初めて知ることができました。ただレントゲンを撮るだけかと思っていましたが、もっと沢山の仕事があることが分かりました。「メスをいれなくても体の中が分かる」というフレーズがすごく印象に残っています。先生の話が面白くて、この職業に興味を持ちました。「シンプルなことを大切に」「だれのために何をするのか」を考えて、これからの学校生活や家族との時間を過ごしたいと思います。

…今回の講演会では新型コロナウイルスに関することも教わりました。普通の肺炎は肺の中央から末梢に炎症が広がっていくけれど、新型コロナウイルスの肺炎はいきなり末梢に症状がでるということです。…看護の仕事だけでなく、放射線技師においても人との会話が大切で、医療従事者をめざす者は日頃からコミュニケーション力をつける努力をしなければと思いました。

○8月7日(金) 9:00~

対象:1年生聴講希望者

講師:荒川正昭先生(医師、元新潟大学学長)

佐々木佳代先生(県立加茂病院看護師長)

医療講演会

今回の講演会は、1年生対象の講演会3回のうちの第1回にあたるものです。今年新型コロナウイルス流行の影響で、講演会そのものが実施困難といわれている中、本校生徒のためにわざわざお越し下さる先生方の貴重なお話しを、しっかりと受けとめて欲しいと思います。来年度「医療専攻」のメインプログラムを希望する生徒は勿論、他の聴講生にとっても、人間的成長と進路実現を志す契機となることでしょう。

